

# 三遠南信サミット 2011 in 遠州 サミット宣言

*San-En-Nanshin SUMMIT*

第 19 回三遠南信サミット in 遠州では、「三遠南信流域都市圏構築への挑戦～融合、新たなステージへ～」をテーマとし、全体会および各分科会において、三遠南信地域連携ビジョンの重点プロジェクトについて、これまでの検証・評価及び 24 年度以降の事業推進の方向性を議論しました。

私たち三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）は、新たなステージに向け、本日のサミットでの議論を踏まえ、次の事項に重点を置き、県境地域連携を自負と責任を持って推進します。

- 1 三遠南信自動車道について、早期全線開通のためには現道活用区間の整備などミッシングリンクを解消すること、また、災害時には、内陸部と沿岸部を結ぶ「命をつなぐ道路」として欠かせないものであるという認識を確認しました。  
圏域の一体的な発展のため、三遠南信自動車道の早期全線開通、リニア中央新幹線の早期開業、浜松三ヶ日・豊橋道路の整備、三遠伊勢連絡道路の実現を目指し、三遠南信地域連携ビジョン推進会議を中心とし、地域一体となった提言活動等を進めます。
- 2 地域の産業基盤を活かした国際優位性のある新産業の創出と、既存産業の振興を実現するため、「三遠南信地域基本計画」及び「地域イノベーション戦略推進地域」等、産学官金等の各主体が県境を越えて連携し、国際競争に勝ち抜くための戦略を推進します。  
また、三遠南信地域内の大学連携の方向性について、引き続き検討していきます。
- 3 三遠南信地域における歴史、自然、文化、そして人々の上下流域の結びつきを再確認し、「塩の道エコミュージアム」を構成する地域資源を活用した事業に取り組む民間団体との連携を強化するとともに、圏域内外への発信体制の整備を進めます。
- 4 地震や台風等により、広域的また局地的に発生する災害に対応するため、県境を越えた防災体制の整備について、現実的な相互協力に取り組みます。各自治体における防災力を検証したうえで、三遠南信災害時相互応援協定を見直します。  
また、中山間地域を活かす流域モデルの形成に向け、各地域が取り組む定住促進施策の連携について検討するとともに、情報発信に関わる体制の整備を進めます。
- 5 三遠南信地域連携ビジョン推進会議の後継となる新・連携組織は、現在と同様に地方公共団体と経済団体との官民連携の組織とし、今後の広域連合設置に向けては、専門委員会において検討を進めます。

これらの取り組みを、ここに集うすべての主体が確認し、第 19 回三遠南信サミット 2011 in 遠州のサミット宣言といたします。

平成 23 年 10 月 24 日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議  
三遠南信サミット 2011 in 遠州